

第14回 富山景気定点観測アンケート 調査結果

2016年12月

富山経済同友会
経営・CSR委員会

第14回 富山景気定点観測アンケート調査結果

調査期間：2016年12月9日～12月22日

調査対象：富山経済同友会会員企業 384社

回答数：176社（回答率46.2%）（製造業53社、非製造業123社）

※本調査は年2回（7月頃、12月頃）実施

【調査結果の概要】

I 経済情勢

1. 富山の景気の現状について (☞ P1)

前回調査時（2016年7月）に比べ「横ばい状態が続いている」が（64%→67%）に増加し、「緩やかに拡大している」は（22%→22%）で横ばい、「緩やかに後退している」が（13%→9%）に減少した。

2. 2017年前半の景気見通しと主要な経済指標について (☞ P1, P2)

景気の見通しは、「横ばい状態が続いていく」が最も多く（53%→55%）、次いで「緩やかに拡大していく」（19%→33%）、「緩やかに後退していく」（23%→10%）の順となった。

その判断根拠（複数回答）では、「増加」項目は「設備投資」（12%）が最も多く、「個人消費」、「政府支出」、「輸出」（それぞれ7%）が続いた。「減少」項目は「個人消費」（19%）が最も多く、続いて「設備投資」（13%）、「生産・販売」（10%）となった。

II 企業業績、設備投資等

1. 業績について (☞ P3)

○売上高（前年同期比）

2016年10-12月期および2017年1-3月期以降とも「横ばい」が最も多くなっている

	2016年後半見込	2017年前半予想
	10-12月	1-3月
増収	32%	29%
横ばい	49%	51%
減収	19%	20%

○経常利益（前年同期比）

売上高と同様に2016年10-12月期および2017年1-3月期以降とも「横ばい」が最も多くなっている

	2016年後半見込	2017年前半予想
	10-12月	1-3月
増益	25%	24%
横ばい	50%	53%
減益	25%	23%

2. 2016年度の設備投資（2015年度比）について (☞ P4)

「2015年度並み」が57%、「増額」が25%、「減額」が18%となった。

3. 雇用状況について (☞ P5)

雇用人員は「不足している」が51%で最も多く、次いで「適正である」が46%、「過剰である」が3%となった。

以 上

I 経済情勢

1. 景気の現状について

現在の富山の景気動向をどのように判断されますか。

（回答社数 176 社）

調査時点	2015/7	2015/12	2016/7	2016/12
拡大している	1%	2%	0%	1%
緩やかに拡大している	66%	54%	22%	22%
横ばい状態が続いている	29%	36%	64%	67%
緩やかに後退している	4%	7%	13%	9%
後退している	0%	1%	1%	1%
その他	0%	0%	0%	0%

2. 2017 年前半の景気見通しと主要な経済指標について

- (1) 富山の 2017 年前半（2017 年 1 月～2017 年 6 月）の景気の見通しについて
どのように判断されますか。

（回答社数 176 社）

調査時点	2015/7	2015/12	2016/7	2016/12
拡大していく	1%	2%	1%	0%
緩やかに拡大していく	71%	54%	19%	33%
横ばい状態が続いていく	21%	36%	53%	55%
緩やかに後退していく	6%	7%	23%	10%
後退していく	1%	1%	4%	1%
その他	0%	0%	0%	1%

※各調査時点において先行き半年間の景気見通しを回答

(2) そのように判断する根拠をお選び下さい（2つまで）

（回答社数 167 社）

設備投資	増加	12%
	減少	13%
個人消費	増加	7%
	減少	19%
政府支出	増加	7%
	減少	6%
住宅投資	増加	4%
	減少	3%
輸出	増加	7%
	減少	3%
生産・販売	増加	6%
	減少	10%
その他		3%

(3) 対ドル円相場について、2017年6月末時点の見通しをご回答ください。

（回答社数 175 社）

95 円未満	95 円～ 100 円未満	100 円～ 105 円未満	105 円～ 110 円未満	110 円～ 115 円未満	115 円～ 120 円未満	120 円～ 125 円未満	125 円以上
0%	2%	11%	27%	32%	20%	7%	1%

(4) 日経平均株価（225種）について、2017年6月末時点の見通しをご回答ください。

（回答社数 175 社）

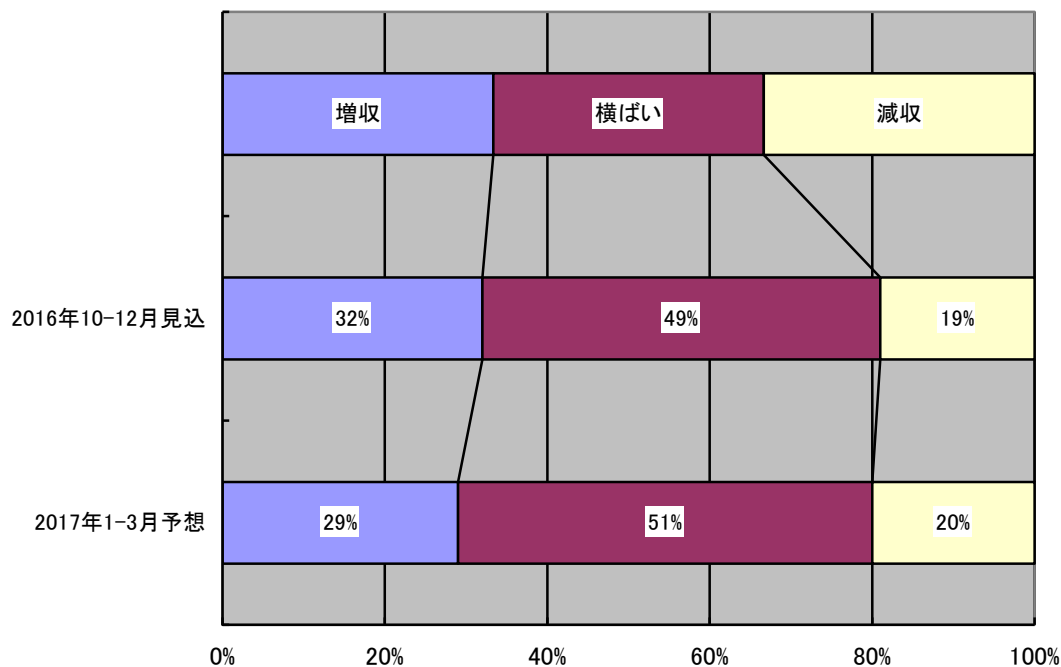
14,000 円未満	14,000 円台	15,000 円台	16,000 円台	17,000 円台	18,000 円台	19,000 円台	20,000 円台	21,000 円台	22,000 円以上
1%	4%	21%	30%	30%	10%	2%	2%	0%	0%

Ⅱ 企業業績、設備投資等（企業関連設問）

1. 貴社（貴支店等）の業績についてお伺いします。

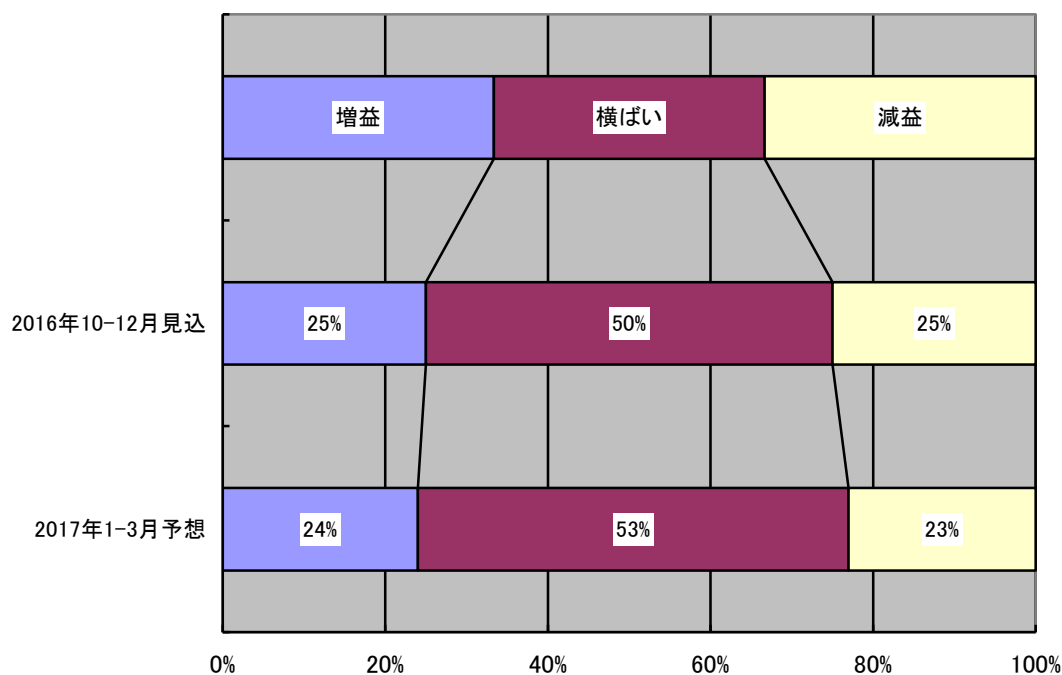
【売上高】（前年同期比）

（回答社数 174 社）



【経常利益】（前年同期比）

（回答社数 163 社）



2. 貴社（貴支店等）の2016年度の設備投資についてお伺いします。(1) 国内の設備投資額は、2015年度(前年度)比でどのようになる予定でしょうか。

(回答社数 172 社)

調査時点	2015/7	2015/12	2016/7	2016/12
増額	37%	34%	23%	25%
2015年度(前年度)並み	45%	47%	50%	57%
減額	18%	19%	27%	18%

(2) 増額される設備投資の主な内容をお選び下さい。(複数回答可)

(回答社数 104 社)

能力増強投資	23%
新規事業投資	10%
合理化・省力化投資	24%
環境対策投資	3%
維持・補修・更新等の投資	40%
その他	0%

(3) 減額される設備投資の主な内容をお選び下さい。(複数回答可)

(回答社数 79 社)

能力増強投資	22%
新規事業投資	32%
合理化・省力化投資	13%
環境対策投資	8%
維持・補修・更新等の投資	24%
その他	1%

3. 貴社（貴支店等）の雇用状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

(1) 全体として、雇用人員は

(回答社数 175 社)

調査時点	2015/7	2015/12	2016/7	2016/12
過剰である	4%	5%	8%	3%
適正である	55%	46%	54%	46%
不足している	41%	49%	38%	51%

(2) 過剰感のある雇用人員は（2つまで）

(回答社数 32 社)

経営・管理職	34%
一般社員、工員等	20%
技術者・専門技能者	9%
営業専門職（歩合、請負等）	3%
アシスタント（派遣、パート、アルバイト等）	31%
その他	3%

(3) 不足感のある雇用人員は（2つまで）

(回答社数 118 社)

経営・管理職	8%
一般社員、工員等	28%
技術者・専門技能者	43%
営業専門職（歩合、請負等）	15%
アシスタント（派遣、パート、アルバイト等）	6%
その他	0%

・ 回答者業種分類

業種	件数	比率
建設業	28	16%
製造業	53	30%
電気・ガス・熱供給・水道業	5	3%
情報通信業	8	5%
運輸業	9	5%
卸売・小売業	27	15%
金融・保険業	12	7%
不動産業	3	2%
飲食店・宿泊業	3	2%
サービス業	18	10%
その他	9	5%
総数	175	100%

・ 回答者企業規模（従業員数）

※支店等の場合は全社の値

規模	件数	比率
10人未満	6	3%
10～49人	47	27%
50～99人	22	13%
100～199人	23	13%
200～399人	22	13%
400人以上	55	31%
総数	175	100%

以 上